

船舶事故等調査報告書

平成23年2月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第112号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年7月13日 08時34分ごろ	
発生場所	広島県呉市 <small>くらはしじま</small> 倉橋島南東方沖 <small>にしごぼんのぼえ</small> 西五番之碕灯標から真方位124° 1,430 m付近（概位 北緯34° 03.5′ 東経132° 27.2′）	
事故等調査の経過	平成22年7月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 <small>タイヤン スカイ</small> TAIYOUNG SKY（大韓民国）、2,483トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 9044176（IMO番号）、TAIYOUNG SHIPPING CO., LTD</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級航海士（大韓民国発行） 三等航海士、五級航海士（大韓民国発行）	
死傷者等	なし	
損傷	右舷船首船底に破口	
事故等の経過	本船は、船長ほか13人（大韓民国籍6人、フィリピン共和国籍7人）が乗り組み、船首尾約4.9mの等喫水をもって、柱島水道を広島港に向け、約14.0ノットの対地速力で北西進中、平成22年7月13日08時34分ごろ、呉市黒島の西方の浅所（エビガヒレ）に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北北東、風力2、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、黒島西方沖を北西進中、三等航海士が、船位の確認を行わず、浅所に向かって航行していることに気付かなかったことから、同浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、黒島西方沖を北西進中、船位の確認を行わなかったため、浅所に向けて航行し、同浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	